



小学部交流②（小学部1年生）

10月5日（月）、レイモンド・ヴァン・ベル校（以下、RV校）との「小学部交流」の2回目が行われ、今回は1年生が参加しました。

【出会い】 最初はお互いに言葉を交わしました。本校（JSB）の児童はフランス語で、RV校の皆さんは日本語で元気にあいさつをしました。RV校の皆さんからは、歓迎の気持ちを込めて日本語で「きらきら星」のプレゼントがありました。



【活動】 その後は、赤・青・緑の3つのグループに分かれて活動がスタート。①工作（好きな形を切り取って色を塗る+マグリットの額縁づくり）、②運動（ヨガと自由遊び）、③ゲーム（UNO、マッチングゲーム、四目並べ）という3種類のアクティビティを、ローテーションで体験しました。



【別れ】 最後の「See you セレモニー」では、全員で一緒に「きらきら星」を合唱しました。再びお互いの言語で丁寧にあいさつを交わし、最後はRV校の皆さんが作ってくれた「友情のアーチ」を笑顔でくぐって、温かい気持ちの中でRVをあとにしました。

子どもたちは最初こそ緊張した様子でしたが、ペアやグループで顔を合わせるとすぐに打ち解け合い、言葉の壁を越えて仲良く楽しむ姿がたくさん見られました。



家庭科で調理実習（中学部1年生）

10月2日（金）、中学部1年生が家庭科の授業で調理実習に取り組みました。

【写真の1枚目】「校長先生、調理実習で作ったので食べてください」と、校長室へ料理を届けてくれました。メニューはお好み焼きとポトフです。実習が午後からだったため、お弁当を食べた直後での試食となりましたが、そんな心配は無用の美味しさでした。「ポトフは温かく優しい味」「お好み焼きはペロリと食べられる美味しさ」と、大



満足の味。心を込めて作ってくれた料理に、感謝の気持ちでいっぱいです。



調理実習後の記録写真を見せてもらおうと、他にもロールキャベツ**【写真2枚目】**やジャガチーズ**【写真3枚**

目】などを作ったグループもあったようです。どれも見事な出来栄で、きっと美味しかったでしょうね。

ここベルギーには美味しいお店がたくさんあり、外食も楽しみの一つです。しかし、昨今の「円安」「物価高」の影響もあり、外食が高価に感じられることも多いのではないのでしょうか。それより何より、心を込めて作った料理を「美味しい!」と笑顔で食べてもらえることこそ、料理の最大の喜びであり、作った甲斐があるというものです。

中学部1年生の皆さん、ぜひ今回の調理実習で身に付けたメニューを、今度はお家でご家族の皆さんにも披露してあげてくださいね。



社会見学（中学部）

10月6日（火）に中学部が「社会見学」に行ってきました。訪問先は2か所で、まず初めに「ブレンドンク要塞」を見学し、その後はメヘレン市内へバス移動し街歩きをしました。



ブレンドンク要塞は、アントワープの防護施設として20世紀初頭に建設され、戦間期にはベルギー軍の宿舎や陸軍参謀本部として利用されました。第二次世界大戦のドイツ占領下では、主にユダヤ人や政治犯などの収容所として利用されることとなり、大半の収容者は後にアウシュビッツや、中3修学旅行の訪問先でもあるザクセンハウゼンなどの収容所へ移送された歴史があります。

要塞の見学は、1～3年生を縦割りにした3班で行いました。2つの班は英語（内1班のガイドさんは少し日本語が話せました）で、残りの班はフランス語（本校仏語教師のサポート付）での案内でした。案内中、ガイドさんの口から突如響き渡った「Stillgestanden!（シュティルゲシュタンデン!／意味：気を付け!）」という当時の鋭い大声は、よく響く要塞の建物の中で、生徒たちに当時の「驚き」や「恐怖」を肌で感じさせました。以前、本校で保護者の方を講師にお招きして行った広島平和記念資料館の学習とはまた趣の異なる、ヨーロッパにおける平和学習の一端を体感する機会となりました。

後半に訪れたのは、聖ロンバウツ教会の高い鐘楼でお馴染みのメヘレンの町でした。昼食は持参したお弁当でしたが、レストラン（夜はBAR）のテーブルをお借りし、澄み切った青空の下でどこか優雅な時間を過ごすことができました。

メヘレンでは、先述の聖ロンバウツ教会と「カゼルネ・ドッサン記念館」を訪問しました。教会では何と言っても514段の階段に挑み、見事な美しい風景を眺めることができました（私は遠慮いたしました）。教会の入り口まで戻ってきた生徒たちは、ロ々に「足がプルプルしてる」と達成感(?)を訴えていました。また、ホロコーストと人権をテーマにした「カゼルネ・ドッサン記念館」では、現在は一部がアパートとして利用されている旧メヘレン通過収容所の記念館区画を見学し、歴史の重みに触れました。

今回の訪問先は学校から1時間ほどの距離ですが、近場でありながらヨーロッパの歴史と平和の尊さを深く学ぶ有意義な1日となりました。少し緊張感のある施設もありますが、ご家族で訪問される価値のある、大変お薦めの場所です。

